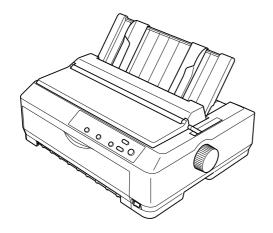
VP-880
取扱説明書
セットアップと使い方の概要編

- プリンタを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

2013 年 4 月発行
Printed in XXXXX

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7/8」のように Windows の表記を省略することがあります。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルおよびプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	操作パネルの表記	プリンタドライバの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	ー	手差し
単票紙をカットシートフィーダー A から給紙する	CSF ビン 2	カットシートフィーダ 2
単票紙をカットシートフィーダー B から給紙する	CSF ビン 1	カットシートフィーダ 1
連続紙をプッシュトラクタから給紙する	ー	プッシュトラクタ
ハガキを用紙ガイドから手差し給紙する	ハガキ	手差し
ハガキをカットシートフィーダー B から給紙する	ハガキ	カットシートフィーダ 1

- 操作パネルの表記“CSF”は、カットシートフィーダー（Cut Sheet Feeder）の略称です。
- プリンタドライバの表記“カットシートフィーダ”は本製品に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。ほかのソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。

本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
分解禁止を示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
アース接続して使用することを示しています。	特定の場所に触れることの禁止を示しています。

設置に関するご注意

⚠警告
本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意	
油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**不安定な場所、ほかの機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。	**本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。** 滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

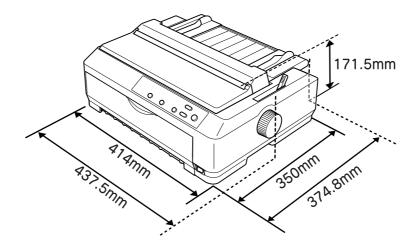
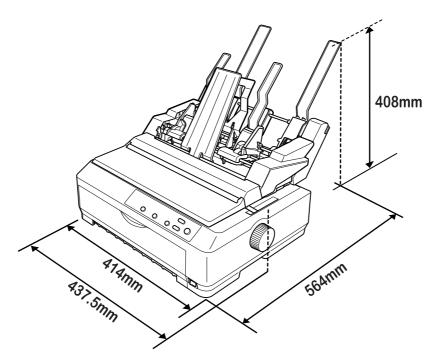
本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5 ～ 35 ℃）と湿度（10 ～ 80%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

!注意	静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本製品を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 本製品をプリンタ台に設定する場合は、本体重量（約 7.1kg）に耐えられるプリンタ台に設定してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです。

カットシートフィーダー A/B（オプション VP880CSFA+VP880CSFB）装着時

電源に関するご注意

⚠警告

AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。** アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。 電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物 • 接地工事（D 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へご相談ください。
次のような場所にアース線を接続しないでください。 • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。** コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

 長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続したほかの機器にも損傷を与えるおそれがあります。

⚠注意

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。

使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

リボンカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

さらに以下の点も注意してください。

- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

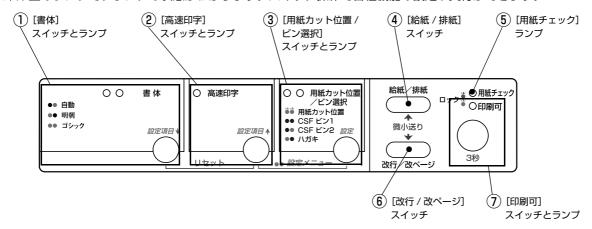
イラストは用紙ガイド（後）を装着したものです。

背面 / 底面

内部

アジャストレバー
用紙の厚さや枚数に合わせて印字面とプリントヘッドの間隔を調整します。
☞本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」
リボンカートリッジ
印字するためのリボンを収めた物です。印字が薄くなったら、リボンカートリッジを交換します。
プリントヘッド
印刷をする部分です。
精密部品ですのでネジを緩めたり分解したりしないでください。
トラクタユニット（前）
連続紙を給紙するときに使用します。用紙ガイド（前）を取り付けるときは取り外します。
排紙ユニット
用紙を排紙するためのユニットです。プルトラクタを使用して連続紙に印刷する場合は、排紙ユニットを取り外してから、この位置にトラクタユニットを取り付けます。
ペーパーカッター
連続紙をミシン目で切り離すときに使用します。
< 用紙ガイド（前）を装着した場合 >
用紙ガイド（前）
用紙ガイド（前）から単票紙を手差し給紙することができます。トラクタユニット（前）を取り外してから取り付けます。
エッジガイド（前）
単票紙を前の用紙ガイドから１枚ずつ給紙するときに単票紙の左側面に合わせます。

操作パネル

操作パネル上のランプでプリンタの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。

ランプの表記　○：点灯　●：消灯　☼：点滅

①[書体]スイッチとランプ(緑)

印刷するプリンタ内蔵書体を選択します。

ランプ	設定値	概要
●○	自動	お使いのアプリケーションソフトがプリンタの内蔵書体を直接選択できるときは選択した書体で印刷します。アプリケーションソフトから選択できないときは漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。
○●	明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。
○○	ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字はエプソンサンセリフで印刷します。

書体の設定は、プリンタの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやアプリケーションソフトで書体(TrueType フォントなど)を指定できるときは、このスイッチの設定よりソフトウェアの設定が優先されます。

プリンタ内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

(漢字モード)

… ‥ 、。‘ ; “ ” : (;)
∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃
↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂
♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ 0
S T U V W X Y Z

(英数カナ文字モード)

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

②[高速印字]スイッチとランプ(緑)

ランプ	概要
●	通常の速度で印字します。
○	文字パターンのドットを間引きして、通常より高速で印字 * します。

*： Windows 環境下で高速印字をするには、さらにプリンタドライバの［印刷品質］を［ドラフト］に設定する必要があります。
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」－「設定項目」

③[用紙カット位置 / ビン選択]スイッチとランプ(緑)

連続紙のとき：[用紙カット位置］スイッチとして働きます。

単票紙のとき：[ビン選択］スイッチとして働きます。

用紙の種類	ランプ	概要
連続紙	☼☼	連続紙が用紙カット位置にある場合。
	●●	連続紙が用紙カット位置にない場合。
単票紙	●●	カットシートフィーダービン 1 が選択されています。
	●○	カットシートフィーダービン 2 が選択されています。
	○●	ハガキモードが選択されています。

④[給紙 / 排紙]スイッチ

用紙の種類	概要
連続紙	プッシュトラクタに連続紙をセットした状態でスイッチを押すと、給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、プッシュトラクタ位置へ排紙します。
単票紙	カットシートフィーダー（オプション）から用紙を給紙します。 印刷位置に給紙された状態でスイッチを押すと、排紙します。

用紙ガイドから給紙する場合は［給紙 / 排紙］スイッチを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込むと用紙は自動給紙されます。

⑤[用紙チェック]ランプ(赤)

用紙の種類	概要
○	給紙時の用紙がない状態。
☼	用紙詰まりの状態または正常に排紙されなかった場合。

⑥[改行 / 改ページ]スイッチ

スイッチを短く押すと改行します。

スイッチを押し続けると、連続紙の場合は改ページし、単票紙の場合は排紙します。

⑦[印刷可]スイッチとランプ(緑)

ランプ	設定値 / 状態	スイッチの動作
○	印刷可	印刷可能な状態です。印刷可能状態でスイッチを短く（3 秒未満）押すと、待機に変わります。
●	待機	印刷できない状態です。スイッチを短く（3 秒未満）押すと、印刷可能な状態になります。印刷の途中でスイッチを押すと印刷が中断します。印刷を再開するには、もう一度スイッチを押します。
☆	微小送りモード	「ピッ」というブザーが鳴るまで3秒以上押すと、ランプが点滅し、微小送りモードになります。 用紙を排紙側へ移動させるときは［↑］スイッチを押します。 用紙を給紙側へ移動させるときは［↓］スイッチを押します。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」 微小送りモードを終了させるには、［印刷可］スイッチを短く押します。

スイッチを 2 つ以上押す場合

操作パネルのスイッチを 2 つ以上同時に押すと、スイッチを単独で押したときとは異なる機能が実行できます。

スイッチ	機能
［書体］＋［高速印字］	バッファをクリアします。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「印刷の中止の仕方」
［高速印字］＋［用紙カット位置 / ビン選択］ （［設定項目↑］＋［設定］）	プリンタ設定モードにします。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「プリンタ設定の方法」－「操作パネルからの設定」
［改行 / 改ページ］＋［電源］オン	セルフテストを行います。 ☞ 本書 25 ページ「8. 動作の確認」
［給紙 / 排紙］＋［電源］オン	
［改行 / 改ページ］＋［印刷可］＋［電源］オン	プリンタ設定モードの項目制限（パネルロックアウト）を行います。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」－「操作パネルからの設定を制限する（パネルロックアウトモード）」
［給紙 / 排紙］＋［印刷可］＋［電源］オン	プリンタ設定モードの項目制限（パネルロックアウト）自体をオン / オフします。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」－「操作パネルからの設定を制限する（パネルロックアウトモード）」
［改行 / 改ページ］＋［給紙 / 排紙］＋［電源］オン	16 進ダンプ印刷します。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「16 進ダンプ印刷」

ランプ表示によるプリンタ状態

<table>
<tr><th rowspan="2">パネルランプの状態</th><th rowspan="2">ブザー鳴動
パターン</th><th>問題</th></tr>
<tr><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">● ［印刷可］ランプ
○ ［用紙チェック］ランプ</td><td rowspan="2">•••</td><td>用紙がセットされていません。</td></tr>
<tr><td>用紙をセットします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">● ［印刷可］ランプ</td><td rowspan="2">•••</td><td>レリースレバーの設定が間違っています。</td></tr>
<tr><td>レリースレバーを適切な位置に設定します。
☞ 本書 33 ページ「給紙経路と用紙」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">● ［印刷可］ランプ
☼ ［用紙チェック］ランプ</td><td rowspan="2">•••</td><td>完全に排紙されていません。</td></tr>
<tr><td>［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">•••</td><td>用紙が詰まっています。</td></tr>
<tr><td>本書 53 ページ「用紙が詰まったときは」を参照して、詰まった用紙を取り除きます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">☼ ［印刷可］ランプ</td><td rowspan="2">－</td><td>プリントヘッドが許容範囲を超えた高温になっています。</td></tr>
<tr><td>［印刷可］ランプの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">☼ ［印刷可］ランプ
☼ ［用紙チェック］ランプ
（同時に 3 秒間点滅）</td><td rowspan="2">－</td><td>ロックアウトされた機能（スイッチ）を押しました。
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」－「操作パネルからの設定を制限する（パネルロックアウトモード）」</td></tr>
<tr><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">☼ ［印刷可］ランプ
☼ ［用紙チェック］ランプ
☼ ［高速印字］ランプ
☼ ［書体］ランプ
☼ ［用紙カット位置 / ピン選択］ランプ</td><td rowspan="2">•••••</td><td>不明なプリンタエラーが発生しました。</td></tr>
<tr><td>プリンタの電源を切って数分放置後、再度プリンタの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。</td></tr>
</table>

○：点灯　●：消灯　☼：点滅
••• ＝短い断続音（ピッピッピッ）、••••• ＝長い断続音（ピーピーピーピーピー）

プリンタのセットアップ

プリンタを箱から取り出し、プリンタが使用できるようにセットアップします。

セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

1 同梱物の確認 ☞18 ページ

2 保護材の取り外し ☞18 ページ

3 用紙ガイド(後)の取り付け ☞19 ページ

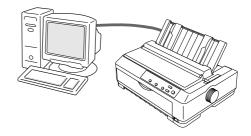
4 用紙ガイド(前)の取り付け ☞20 ページ

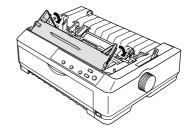
5 電源接続 ☞20 ページ

100V

6 コンピュータとの接続

☞21 ページ

お手持ちのケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。

7 リボンカートリッジの取り付け

☞23 ページ

8 動作の確認

☞25 ページ

プリンタが問題なく使用できるかどうかを確認します。

9 プリンタドライバと監視ユーティリティのインストール

☞28 ページ

Windows で使用するには、同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているプリンタドライバやユーティリティソフトなどをコンピュータにインストールする必要があります。

1. 同梱物の確認

次のものがそろっていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

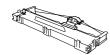
不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

❏ プリンタ本体

❏ 用紙ガイド（後）

❏ 用紙ガイド（前）

❏ リボンカートリッジ

❏ 電源コード

❏ EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM

- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !3
- EPSON ステータスモニタ
- EPSON ステータスモニタ 3
- VP-880 取扱説明書　詳細編（PDF マニュアル）

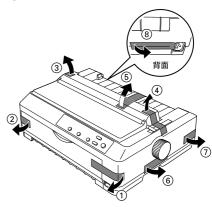
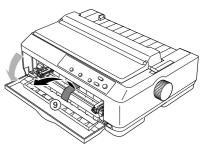
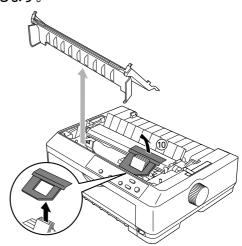
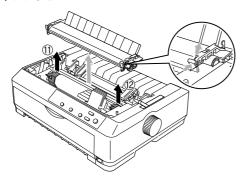
❏ VP-880 取扱説明書
　セットアップと使い方の概要編（本書）

上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材の取り外し

プリンタ輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンタに取り付けられています。

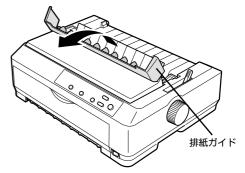
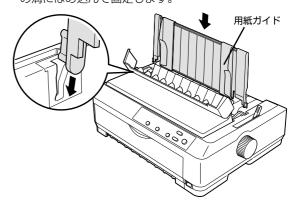
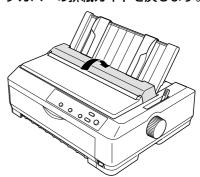
以下の保護材を取り外してください。

1 ①から⑧のテープをはがします。

2 フロントカバーを開けて、⑨のテープをはがします。

3 プリンタカバーを取り外し、⑩の保護材を取り外します。

4 **排紙ユニットを取り外し、⑪と⑫の保護材を取り外します。**

！注意

- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンタの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。
- 取り外したプリンタカバー、排紙ユニットは、取り外しの逆の手順で取り付けてください。

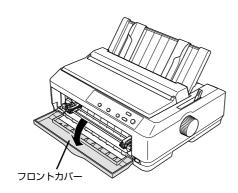
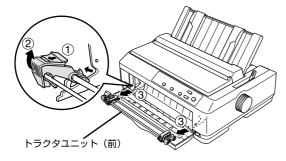
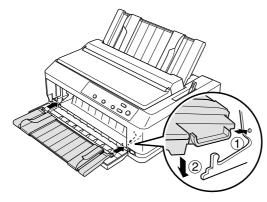
3. 用紙ガイド(後)の取り付け

用紙ガイド（後）は単票紙やハガキなどを給紙する場合に取り付けます。連続紙を給紙する場合は、用紙ガイド（後）を起こさず寝かせた状態にしておいてください。

1 **プリンタカバーの排紙ガイドを手前に起こします。**

2 **用紙ガイド（後）を取り付けます。**
用紙ガイド（後）を両手で持ち、図のようにプリンタの溝にはめ込んで固定します。

3 **プリンタカバーの排紙ガイドを戻します。**

以上で用紙ガイド（後）の取り付けは終了です。

4. 用紙ガイド(前)の取り付け

用紙ガイド（前）は単票紙やハガキなどを本製品の前から給紙する場合に取り付けます。

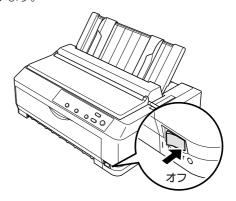
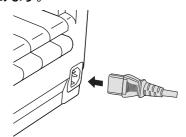
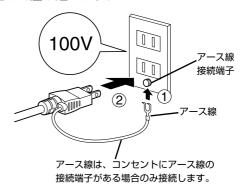
1 **フロントカバーを開けます。**

2 **トラクタユニットの左右のレバーをつまみ、上に持ち上げるようにして取り外します。**

3 **用紙ガイド（前）を取り付けます。**

以上で用紙ガイド（前）の取り付けは終了です。

5. 電源接続

電源コードを電源コンセントに接続します。

> ⚠注意
> 「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。
> ☞ 本書 4 ページ「ご使用の前に」

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **プリンタ背面の AC インレットに電源コードを差し込みます。**

3 **AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。**

漏電による事故防止について
本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

！注意

- 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源を切らないでください。

6. コンピュータとの接続

本製品は、パラレルインターフェイスケーブルまたはUSB インターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続するか、オプションを使用してネットワークに接続することができます。

お使いのコンピュータや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

ローカル接続

本製品は、以下の接続方法でコンピュータとローカル接続してください。

- パラレル接続
- USB 接続
- シリアル接続

シリアル接続をするには、オプションのシリアルインターフェイスカードと市販の接続ケーブルが必要です。インターフェイスカードの装着は以下のページを参照してください。

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカードの取り付け」

ここでは、パラレル接続とUSB接続について説明します。

接続ケーブルは、お使いのコンピュータや接続環境によって異なるため、本製品には同梱されていません。以下の説明を参照してご利用の環境に合ったケーブルをお買い求めください。

ケーブル	機種	型番
パラレル インターフェイス	DOS/V 仕様機	PRCB4N
USB インターフェイス	USB ケーブルが接続できる機種*	USBCB2

*：USB 接続するためには、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されている必要があります。

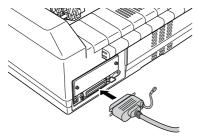
！注意

- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

1 電源が切れていることを確認します。

プリンタの電源とコンピュータの電源が切れていることを確認します。

2 インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。

パラレルケーブル:

パラレルケーブルをプリンタ側のコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に倒して固定します。

ケーブルに FG 線（グランド線）* が付いているときは、コネクタの横にある FG 線取り付けネジを使って接続します。

* FG（グランド）線：ノイズによる誤動作を防止するための接続線

USB ケーブル:

USB ケーブルをプリンタ側のコネクタにしっかり差し込みます。

3 もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。

以上でコンピュータとの接続は終了です。コンピュータ側の接続については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

参考

USB ケーブルの場合は、以下の点をご確認ください。

- ケーブルのコネクタには、表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください。
- USB ケーブルの差し込み口が複数ある場合は、どこに差し込んでも問題ありません。
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータに一番近い USB ハブへ接続してください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続するには、オプションが必要です。インターフェイスカードの取り付けは PDF マニュアルの以下のページを参照して行ってください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」

型番	名称	解説
PRIFNW7	100BASE-TX/10BASE-T マルチプロトコルネットワーク I/F カード	本製品を Ethernet でネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。 TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk に対応しています。 接続には、Ethernet ツイストペアケーブル（カテゴリー5 以上）が別途必要です。 ネットワーク上の設定については、インターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

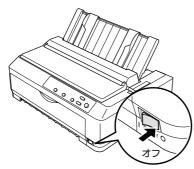
参考

- オプションのインターフェイスカードを使用するときは、自動インターフェイス選択機能により使用するインターフェイスを自動的に選択できます。インターフェイス選択機能については、以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する場合は、本製品の標準インターフェイスをご利用いただけます。オプションは必要ありません。
  プリンタ共有については、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書 詳細編』（PDFマニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタの共有」

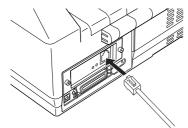
!注意

- 本製品の電源を入れた状態で、ネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使用されることをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- ネットワークに有線で接続するときは HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチングHUBでは正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本製品の間に自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **オプションのインターフェイスカードを装着してから Ethernet ケーブルを接続します。**

オプションのインターフェイスカードの装着方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) −「オプションと消耗品」−「インターフェイスカード」−「取り付け方」

3 **ケーブルのもう一方のコネクタを、HUB の空いているポートに差し込みます。**

コンピュータへのケーブルの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

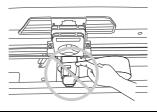
以上でコンピュータとの接続は終了です。

インターフェイスカードの設定方法については、お使いのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

7. リボンカートリッジの取り付け

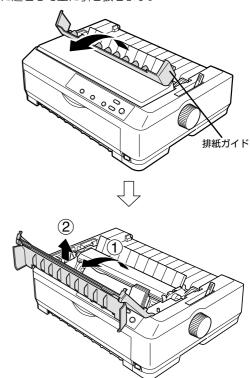
同梱されているリボンカートリッジをプリンタに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

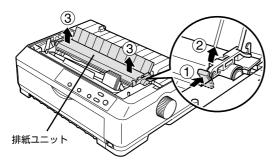
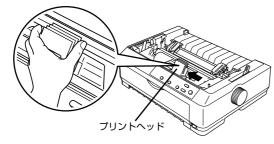
! 注意

- プリンタの電源を入れたまま作業を行うと故障の原因になります。必ず電源を切ってから行ってください。
- リボンカートリッジ取り付け時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

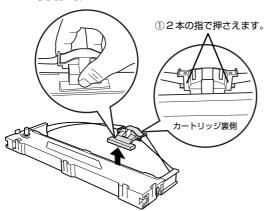
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **プリンタカバーを取り外します。**

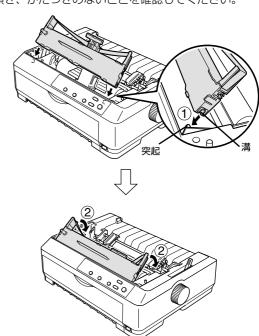
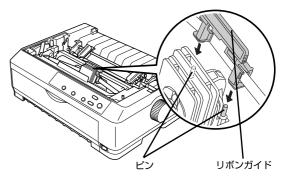
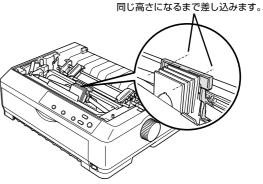
排紙ガイドを手前に倒してから、プリンタカバーを手前に起こして上に引き抜きます。

3 排紙ユニットを取り外します。

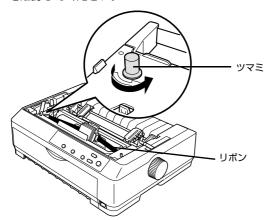
排紙ユニット両側のレバーを後方に押しながら、そのまま回転させるようにして取り外します。

4 プリントヘッドを手で中央に移動します。

5 リボンカートリッジを袋から取り出して、リボンガイドを外します。

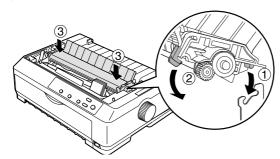
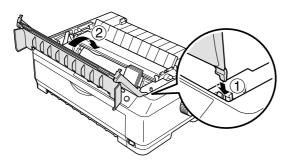
リボンカートリッジに固定されているリボンガイドを下図のように持ち、手前に引いてカートリッジから外します（カートリッジから引き抜くだけでリボンから取り外す必要はありません）。

参考

上図①で示した所以外を持つと、インクで手が汚れる場合があります。

6 リボンカートリッジを取り付けます。

プリンタ両側の突起にリボンカートリッジの溝を合わせて、合わせた部分を支点にして固定されるまで奥に倒し込みます。カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

7 インクリボンのリボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。

リボンガイドの穴をプリントヘッドの両側のピンに通して取り付けます。

8 **リボンのたるみを取ります。**

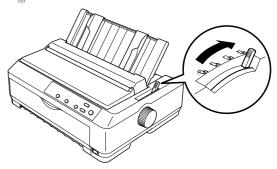
再びリボンカートリッジのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。

9 **排紙ユニットを取り付けます。**

排紙ユニット両側のフックをプリンタ側にひっかけ、排紙ユニットの下部を押し込むようにして固定します。

10 **プリンタカバーを取り付けます。**

以上でリボンカートリッジの取り付けは終了です。

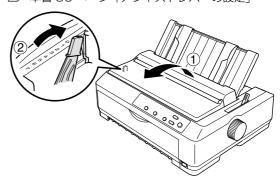
8. 動作の確認

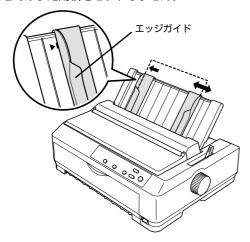
プリンタが正常に動作するかどうかをプリンタ内蔵の印字パターンを印刷して確認します。A4 サイズの単票紙を用意してください。

> **参考**
> - A4 より小さいサイズを使用すると用紙からはみ出して印刷します。
> - 動作の確認は連続紙（用紙幅 228.6mm（9.0 インチ）以上）でもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。
>   ☞ 本書 38 ページ「連続紙の給紙と排紙」

1 **レリースレバーを奥側に倒して、単票紙給紙（CUT）に切り替えます。**

2 **プリンタカバーを開け、アジャストレバーを「0」に設定し、プリンタカバーを閉じます。**

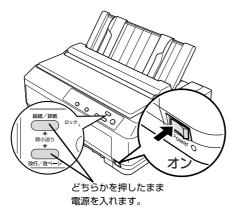
1 枚の単票紙に印字する場合は「0」に設定してください。それ以外の用紙に印字する場合は、以下のページを参照してください。

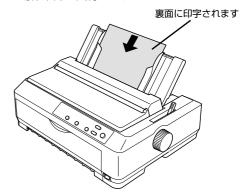
☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

3 **エッジガイドの位置を調整します。**

用紙ガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▶|）に合わせてから、エッジガイド（右）を A4 縦の単票紙の幅に合わせます。
ここではまだ用紙をセットしません。

> **参考**
> 左右のエッジガイドの間で用紙がなめらかに動くようにエッジガイドの位置を合わせてください。

4 **[改行 / 改ページ] または [給紙 / 排紙] どちらかのスイッチを押したまま電源を入れます。**

- ［改行 / 改ページ］スイッチ：
  英数カナ文字モード印字をします
- ［給紙 / 排紙］スイッチ：
  漢字モード印字をします

ブザーが 3 回鳴り、［用紙チェック］ランプが点灯したらスイッチから指を離してください。

5 **単票紙を手差し給紙して、動作確認を実行します。**

エッジガイドに沿って、A4 縦の単票紙を差し込みます。
単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。

印刷結果の例は次のようになります (一部抜粋してあります)。

- 漢字モード

```
…  ‥  。  ;  “  ”  (  )
∞  ∴  ♂  ♀  °  ′  ″  ℃
↑  ↓  〓  ∈  ∋  ⊆  ⊇  ⊂
♯  ♭  ♪  †  ‡  ¶  ◯  0
S  T  U  V  W  X  Y  Z
```

- 英数カナ文字モード

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

> **参考**
> - 印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。
> - 1 枚目の印刷が終了し、続いて2枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

6 **動作確認を終了します。**

［印刷可］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、[給紙 / 排紙] スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

> **! 注意**
> 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

7 **印刷の状態を確認します。**

5 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に機能しています。

手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へ修理をご依頼ください。修理に関するお問い合わせ先は以下のページをご覧ください。
本書 61 ページ「各種サービス・サポートのご案内」

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタドライバなどをインストールします。

9. プリンタドライバと監視ユーティリティのインストール

Windows プリンタドライバやプリンタ監視ユーティリティ（EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3）などをインストールします。

!注 意

Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 をお使いの場合は、『補足説明書　セットアップと印刷方法』を参照してください。
『補足説明書　セットアップと印刷方法』はエプソンのホームページからダウンロードしてください。
【サービス名】 ダウンロードサービス
【アドレス】　http://www.epson.jp/

Windows 7 の場合

参考

- EPSON ステータスモニタは、プリンタの状態を監視してエラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。
  EPSON ステータスモニタで監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル接続または USB 接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ
  - TCP/IP 接続プリンタ
  （オプションの PRIFNW7 を使用）
  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールしてから、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON ステータスモニタをインストールしてください。
- Windowsプリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON ステータスモニタをインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON ステータスモニタをインストールしないようにしてください。

プリンタドライバのインストール

OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールします。

1 コンピュータとプリンタの電源を切り、パラレルインターフェイスケーブルまたは USB インターフェイスケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。

2 プリンタの電源を入れます。

3 コンピュータの電源を入れ、Windows 7 を起動します。

4 プリンタが検出され、自動的にプリンタドライバがインストールされます。

以上でプリンタドライバのインストールは終了です。

続いて、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON ステータスモニタをインストールします。

EPSON ステータスモニタのインストール

1 Windows を起動します。

管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

2 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

3 ［ソフトウェア一覧］をクリックします。

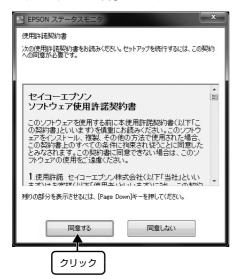
参考

上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

4 ［EPSON ステータスモニタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

5 ［はい］をクリックします。

6 以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。
［同意しない］をクリックした場合は、［OK］をクリックしてインストールを終了させます。

7 しばらくすると、以下の画面が表示されます。［監視プリンタの更新］をクリックします。

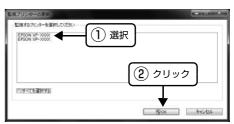
EPSON ステータスモニタで監視するプリンタに本製品を追加します。

参考

監視プリンタの更新をせずにプリンタのセットアップを終了させ、後で設定することもできます。その場合は、［OK］または［キャンセル］をクリックしてセットアップを終了させます。
設定方法は以下を参照してください。

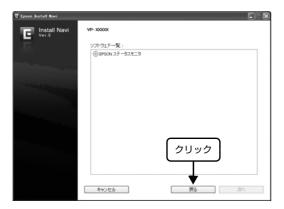
☞『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ）」－「監視プリンタの更新」

8 本製品を選択し、［OK］をクリックします。

参考

ここではほかのプリンタを追加したり削除することもできます。
監視するプリンタを選択して［OK］をクリックします。また、［すべてを選択する］にチェックを付けると、表示されているすべてのプリンタを選択できます。監視させたくないプリンタは、選択を解除して［OK］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

11 ［戻る］をクリックします。

12 ［終了］をクリックします。

ご利用の環境によって表示される画面が異なります。再起動を促すメッセージが表示されたら、Windowsを再起動してください。

以上で終了です。

Windows 2000/XP/Vista/8 の場合

参考

- EPSONプリンタウィンドウ!3/EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。本製品同梱の CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストール後、続けてインストールすることができます。
  EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ 3 で監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル接続または USB 接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ
  - TCP/IP 接続プリンタ
    （オプションの PRIFNW7 を使用）

  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- EPSON プリンタウィンドウ!3 の対象OS は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista です。
- EPSON ステータスモニタ 3 の対象 OS は、Windows 8 です。
- Windows 8 をお使いで、既に Windows Update のプリンタドライバやOSに標準添付されているプリンタドライバをインストールされている場合は、それらを削除してから CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストールしてください。
  OS に標準添付されているプリンタドライバ名：
  EPSON ESC/P V4 Class Driver
- Windows プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ3をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ 3 をインストールしないようにしてください。

1 プリンタの電源を切ります。

指示があるまでプリンタの電源を入れないでください。

2 Windows を起動します。

管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

参考

以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。

3 本製品に同梱されているEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

4 ［簡単インストール］をクリックします。

参考

上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

5 以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。

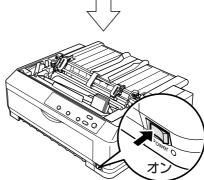
［同意しない］を選択した場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを終了させます。

6 インストールするソフトウェアを確認し、［インストール］をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。

7 しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンタの電源を入れてください。

プリンタの接続先を設定します。

参考

 の画面表示後、約３分経過してもプリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。

プリンタの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、［再試行］をクリックし、［手動設定］から接続しているポートを選択してください。

8 **以下のような画面が表示されたら［終了］をクリックします。**

9 **［終了］をクリックします。**

ご利用の環境によって表示される画面が異なります。再起動を促すメッセージが表示されたら、Windowsを再起動してください。

以上で終了です。

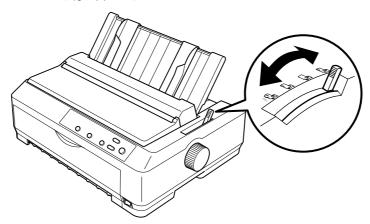
給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

本製品は、プリンタの前 / 後、上に給紙装置を備え、マルチウェイローディング機構により連続紙をセットしたままの状態で単票紙を給紙することができます。

ただし、フロントプッシュトラクタに連続紙をセットしている場合は、用紙ガイド（前）から単票紙を給紙することはできません。

給紙経路に合わせてレリースレバーを切り替えます。

用紙種類		給紙経路	レリースレバー	給紙方法
連続紙	• プッシュトラクタでプリンタ前面、後方から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、後方、底面から給紙します • 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙） • 複写紙は最大5枚（オリジナル＋４枚）まで可 • 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可		FF-PUSH	プッシュトラクタを使用して、プリンタ後方から給紙します。給紙経路によっては、トラクタなどの部品を付け替える必要があります。
			FF-PUSH	プッシュトラクタを使用して、プリンタ前面から給紙します。給紙経路によっては、トラクタなどの部品を付け替える必要があります。
			FF-PULL	プルトラクタを使用して、プリンタ前面、後方、底面から給紙します。トラクタなどの部品を付け替える必要があります。

用紙種類		給紙経路	レリース レバー	給紙方法
単票紙	• 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙）、ハガキ • 複写紙は最大5枚(オリジナル＋４枚）まで可 • 単票ラベル紙は使用不可 • 単票複写紙は用紙ガイド（前）から給紙します • 横のり綴じの単票複写紙は使用できません		CUT	用紙ガイド（前 / 後）またはカットシートフィーダーA/B（オプション）から給紙します。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

参考

- カットシートフィーダー（オプション）で使用できる用紙の詳細については、以下のページを併せてお読みください。
  『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダー」
- 給紙ミスや紙詰まりを防止するために以下のページを参照してください。
  本書 56 ページ「用紙詰まりの予防」

• 連続紙（連続複写紙）

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙（オリジナル＋4枚まで）
用紙幅	101.6 ～ 254.0mm（4.0 ～ 10.0 インチ）	
ページ長	101.6 ～ 558.8mm（4.0 ～ 22.0 インチ）	
用紙厚	0.065 ～ 0.1mm	0.12 ～ 0.39mm
用紙連量	45 ～ 70kg（坪量 52 ～ 81.3g/m^2）	34 ～ 50kg（坪量 40 ～ 58g/m^2）（1 枚当たり）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

• 連続ラベル紙

連続ラベル紙に印刷するときは、プッシュトラクタでプリンタ前面から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面または底面から給紙します。

項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6～254.0mm（4.0～10.0インチ）
台紙ページ長	101.6～558.8mm（4.0～22.0インチ）
用紙厚（台紙含む）	0.16～0.19mm（台紙0.07～0.09mm）
用紙連量	55kg（坪量 63.9g/m^2）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

• 単票紙（単票複写紙）

項目	項目	一枚紙	複写紙 *2
品質		上質紙 *1、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	用紙ガイド（前）	100 ～ 257mm（3.9 ～ 10.1 インチ）	
	用紙ガイド（後）	100 ～ 257mm（3.9 ～ 10.1 インチ）	－
	カットシートフィーダー A	182～216mm（7.2 ～ 8.5 インチ）	－
	カットシートフィーダー B	100～216mm（3.9 インチ～ 8.5 インチ）	－
用紙長	用紙ガイド（前 / 後）	100 ～ 364mm（3.9 ～ 14.3 インチ）*3	
	カットシートフィーダー A	210～364mm（8.2 ～ 14.3 インチ）	－
	カットシートフィーダー B	100 ～ 364mm（3.9 ～ 14.3 インチ）	－
用紙厚	用紙ガイド（前 / 後）	0.065 ～ 0.14mm	0.12 ～ 0.39mm*3
	カットシートフィーダー A/B	0.07 ～ 0.14mm	－
用紙連量	用紙ガイド（前 / 後）	45 ～ 78kg（坪量 52 ～ 82.7g/m^2）	34 ～ 50kg（坪量 40 ～ 58g/m^2）（1 枚当たり）
	カットシートフィーダー A/B	55 ～ 78kg（坪量 63.9 ～ 82.7g/m^2）	－

*1：本書では、上質紙、普通紙、PPC 用紙を総称として、上質紙と表記します。
*2：天のり綴じの複写紙のみ使用できます。
*3：単票複写紙は用紙ガイド（前）から給紙します。
※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	用紙ガイド（前）	用紙ガイド（後）*1	カットシートフィーダー（A/B）*1
A4（210×297mm）	縦長	縦長	縦長
A5（148×210mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2
A6（105×148mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2
B4（257×364mm）	縦長	縦長	―
B5（182×257mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長
B6（128×182mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2

*1：複写紙は使用できません
*2：カットシートフィーダー B のみ
※カットシートフィーダーはオプションです。

- **ハガキ**

項目		詳細 *	
品質		郵便ハガキ	郵便往復ハガキ
用紙幅	用紙ガイド（前）	100～148mm（3.9～5.8 インチ）	―
	用紙ガイド(後)、カットシートフィーダー B	100～148mm（3.9～5.8 インチ）	
用紙長	用紙ガイド（前）	100～148mm（3.9～5.8 インチ）	―
	用紙ガイド(後)、カットシートフィーダー B	100～200mm（3.9～7.8 インチ）	
用紙厚		0.22mm	
用紙連量		165kg（坪量 191.5g/m^2）	

*：カットシートフィーダーAはハガキを給紙することはできません。
※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

ハガキのセット方向は下表の通りです。

ハガキ種類	用紙ガイド（前）	用紙ガイド（後）	カットシートフィーダー B
通常ハガキ（100×148mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
往復ハガキ（148×200mm）	―	縦長	縦長

アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。

アジャストレバーの操作は、プリンタカバーを開けてから行ってください。

用紙の種類・枚数（紙厚）		アジャストレバーの設定値 *					
		0	1	2	3	4	5
1 枚紙	連続紙（0.065～0.10mm）	○					
	単票紙（0.065～0.14mm）	○	○				
複写紙	2 枚紙（～0.18mm）	○	○				
	3 枚紙（～0.25mm）		○	○			
	4 枚紙（～0.32mm）			○	○		
	5 枚紙（～0.39mm）				○	○	○
ハガキ	165kg（0.22mm）			○			
ラベル	（0.07～0.19mm）			○			
紙厚		0.06～0.12mm	0.12～0.19mm	0.19～0.26mm	0.26～0.32mm	0.32～0.36mm	0.36～0.39mm

*：設定値 6、7 は使用しません。

！注意

- 厚紙や特殊紙に印刷する場合は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定する際、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 表の値は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。
- ハガキに印刷するときは、[用紙カット位置 / ビン選択] スイッチを押してハガキモードにし、アジャストレバーを「2」に設定してください。

トラクタユニットの付け替え

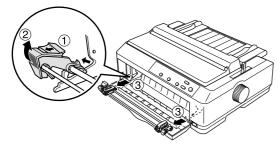
トラクタユニットは自由に付け替えることができます。給紙経路に合わせて取り付け位置を変えてください。

連続紙の給紙方法を変更しない場合は、トラクタユニットの付け替えを行う必要はありません。以下のページを参照して連続紙をセットしてください。

☞ 本書 38 ページ「プッシュトラクタ（前）からの給紙」
☞ 本書 40 ページ「プッシュトラクタ（後）からの給紙」
☞ 本書 42 ページ「プルトラクタからの給紙」

トラクタユニットの取り外し

1 トラクタユニットの左右のレバーをつまみ、上に持ち上げるようにして取り外します。

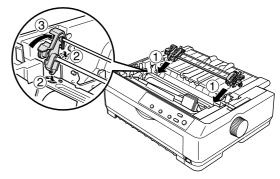
トラクタユニットがどの位置に取り付けられていても同じ手順で取り外せます。イラストはプッシュトラクタ（前）に取り付けられているトラクタユニットを取り外す場合の例です。

次にトラクタユニットを以下の 3 つの位置に取り付けます。

- プッシュトラクタ（前）位置
- プッシュトラクタ（後）位置
- プルトラクタ位置

プルトラクタ位置への取り付け

1 用紙ガイド（後）、排紙ユニットを取り外します。

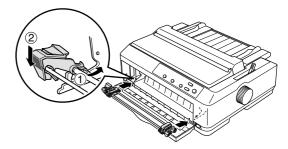
2 トラクタユニットを両手で持ち①、トラクタのツメをプリンタの穴にひっかけるようにして②、後ろに倒して取り付けます③。

細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（後）は、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 42 ページ「プルトラクタからの給紙」

プッシュトラクタ（前）位置への取り付け

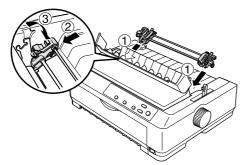
1 フロントカバーを開け、用紙ガイド（前）を取り外します。

2 トラクタユニットの左右のレバーを持ち、図のように取り付けます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 38 ページ「プッシュトラクタ（前）からの給紙」

プッシュトラクタ（後）位置への取り付け

1 **用紙ガイド（後）を取り外します。**

2 **トラクタユニットを両手で持ち①、図のくぼみにはめ②、後ろに倒して取り付けます③。**

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（後）は、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 40 ページ「プッシュトラクタ（後）からの給紙」

連続紙の給紙と排紙

本製品は、トラクタユニットを付け替えることで、プッシュトラクタ（前）、プッシュトラクタ（後）、プルトラクタ、プッシュプルトラクタ（前 / 後）から給紙することができます。

☞ 本書 33 ページ「給紙経路と用紙」

工場出荷時は、プッシュトラクタ（前 / 後）位置にトラクタユニットが取り付けられています。

！注意

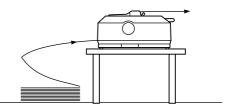
印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンタの電源を入れたまま、連続紙がプリンタ内に給紙された状態で、トラクタから用紙を外して引き抜く。
- プリンタの電源を入れたまま、[給紙 / 排紙] スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンタの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

給紙

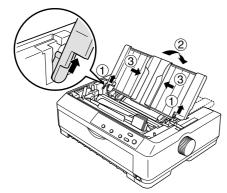
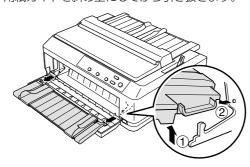
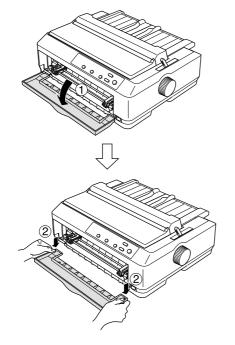
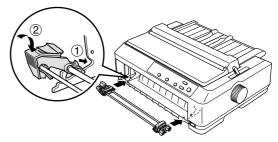
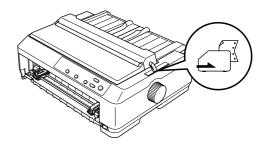
プッシュトラクタ（前）からの給紙

プリンタ前方から連続紙を給紙します。

連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

参考

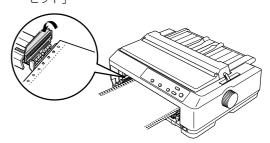
- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 用紙ガイドの装着状況によって、以下の作業を行ってください。

- 用紙ガイド（後）を装着している場合
  用紙ガイドを斜め奥に引き上げ①、後ろに倒してから②、エッジガイドを中央に移動させます③。

- 用紙ガイド（前）を装着している場合
  用紙ガイドを斜め上にしてから引き抜きます。

2 フロントカバーを取り外します。

3 トラクタユニットがプッシュトラクタ（前）位置に装着されていない場合は取り付けます。

4 レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（FF-PUSH）側に設定します。

5 プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。

☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

6 連続紙をトラクタユニットにセットします。

☞ 本書 45 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

> **参考**
> 連続紙がたるんだり、きつく張りすぎている場合は、スプロケットの位置を調整してください。連続紙のスプロケットの穴が変形しない程度の位置が理想です。

7 フロントカバーを取り付けて、印字開始位置を調整し、フロントカバーを閉じます。

参考

フロントカバー裏の目盛りの［0］の位置が印字開始位置です。

ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。

① 用紙のセット位置を確認します。
　1 桁目の印字開始位置を[0]に合わせてください。

② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。

それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

8 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、印刷を実行します。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

！注 意

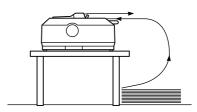
- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。

参考

- 印刷する前に以下を設定してください。
  - プリンタドライバ経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」
  - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」

プッシュトラクタ(後)からの給紙

プリンタ後方から連続紙を給紙します。

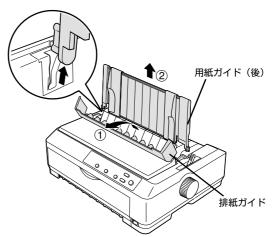
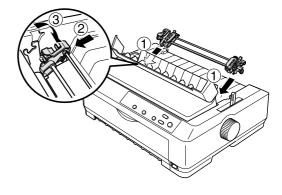
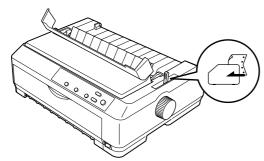
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

！注 意

プッシュトラクタ（後）からラベル紙を給紙することはできません。

参考

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

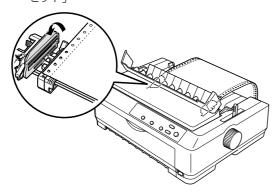
1 用紙ガイド（後）を外します。

プリンタカバーの排紙ガイドを手前に起こし、用紙ガイドを取り外します。

2 トラクタユニットがプッシュトラクタ（後）位置に装着されていない場合は取り付けます。

3 レリースレバーをプッシュトラクタ（後）（FF-PUSH）側に設定します。

4 プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。

本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

5 連続紙をトラクタユニットにセットします。

本書 45 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

参考

- 連続紙がたるんだり、きつく張りすぎている場合は、スプロケットの位置を調整してください。連続紙のスプロケットの穴が変形しない程度の位置が理想です。
- プリンタ後部の目盛りの［0］の位置が印字開始位置です。
  ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
  ① 用紙のセット位置を確認します。
  1 桁目の印字開始位置を［0］に合わせてください。
  ② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
  それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

6 左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置に移動させてから①、用紙ガイド（後）を取り付け②、後ろに少し引いて倒します③。

用紙ガイドは排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

7 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、印刷を実行します。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

! 注意

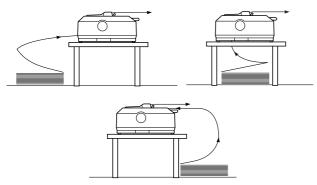
- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。

参考

- 印刷する前に以下を設定してください。
  - プリンタドライバ経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
    『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」
  - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
    『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」

プルトラクタからの給紙

プリンタの前面、後方、底面から連続紙を給紙します。

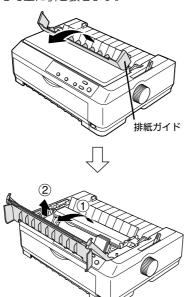
連続紙をスムーズに給紙するために以下のような配置でプリンタをお使いください。

!注意

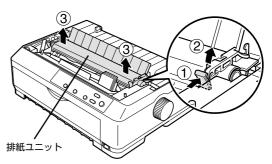
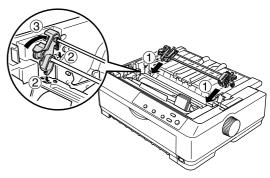
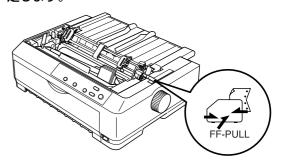
プリンタ後方からラベル紙を給紙することはできません。

参考

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 プリンタカバーを取り外します。

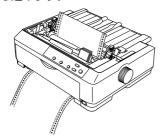
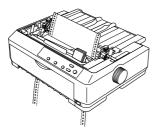
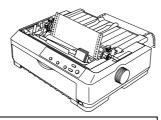
排紙ガイドを手前に倒してから、プリンタカバーを手前に起こして上に引き抜きます。

2 排紙ユニットを取り外します。

排紙ユニット両側のレバーを後方に押しながら、そのまま回転させるようにして取り外します。

3 トラクタユニットをプルトラクタ位置に取り付けます。

4 レリースレバーをプルトラクタ（ ）位置に設定します。

5 使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。

本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

6 連続紙をプリンタに差し込みます。

使用したい給紙経路から連続紙を差し込み、1 ページ目のミシン目がリボンと同じ位置になるまで引き出します。
プリンタ後部から連続紙を差し込む場合は、印刷位置目盛りを目安にして差し込みます。

<プリンタ前部から給紙>

<プリンタ底部から給紙>

<プリンタ後部から給紙>

参考

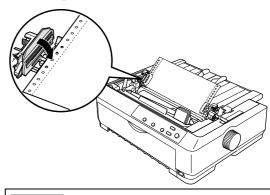
フロントカバー裏 / プリンタ後部の目盛りの［0］の位置が印字開始位置です。
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。

① 用紙のセット位置を確認します。
　1 桁目の印字開始位置を［0］に合わせてください。
② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。

それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

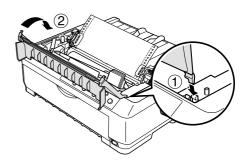
7 連続紙をトラクタユニットにセットします。

印刷位置を合わせ、連続紙がたるんでいる場合は、後ろから（底面給紙の場合は下から）少し引いてたるみを取ります。

☞ 本書 45 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

!注意

プルトラクタに用紙をセットするときは、紙送りノブは絶対に使用しないでください。用紙がたるんでいる場合は微小送り機能を使用してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

8 プリンタカバーを取り付けます。

9 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、印刷を実行します。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

!注意

- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

参考

給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

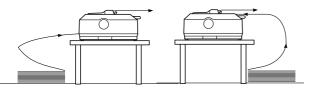
プッシュ/ プルトラクタからの給紙

プリンタの前面、後方から連続紙を給紙します。

後方からの給紙の場合は、プッシュトラクタ（前）を外してプルトラクタ位置に取り付けます。

前面からの給紙の場合は、プッシュトラクタ（後）を外してプルトラクタ位置に取り付けます。

これによりプッシュ＋ プルトラクタで紙送りができ、連続紙の紙送り精度を向上させることができます。オプションのトラクターユニットをプルトラクタ位置に取り付けると、プルトラクタを取り付けたまま、プッシュトラクタ（前）とプッシュトラクタ（後）からも給紙することができます。

連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

!注意

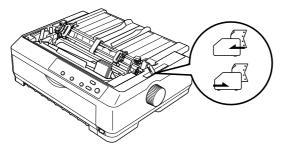
プリンタ後方からラベル紙を給紙することはできません。

参考

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 トラクタユニットをプッシュトラクタ、プルトラクタの位置に取り付けます。

- プッシュトラクタ位置への取り付け
  ☞ 本書 38 ページ「プッシュトラクタ（前）からの給紙」
  ☞ 本書 40 ページ「プッシュトラクタ（後）からの給紙」
- プルトラクタ位置への取り付け
  ☞ 本書 42 ページ「プルトラクタからの給紙」

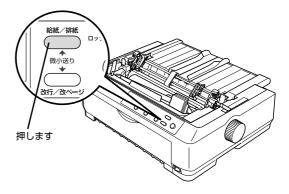
2 レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（FF-PUSH）またはプッシュトラクタ（後）（FF-PUSH）側に設定します。

3 使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。

☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

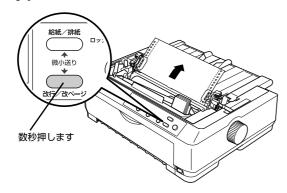
4 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、連続紙をプリンタに差し込み、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を給紙します。

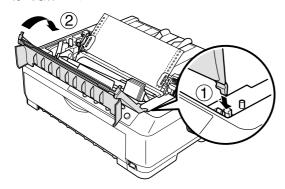
以下を参照して、使用したい給紙経路から連続紙を差し込みます。

- プッシュトラクタ（前）から給紙する場合
  ☞ 本書 38 ページ「プッシュトラクタ（前）からの給紙」
- プッシュトラクタ（後）から給紙する場合
  ☞ 本書 40 ページ「プッシュトラクタ（後）からの給紙」

プリンタ後部から連続紙を差し込む場合は、印刷位置目盛りを目安にして差し込みます。

参考

- フロントカバー裏 / プリンタ後部の目盛りの［0］の位置が印字開始位置です。
  ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
  ① 用紙のセット位置を確認します。
  1 桁目の印字開始位置を［0］に合わせてください。
  ② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
  それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。
- プルトラクタに用紙をセットするときは、紙送りノブは絶対に使用しないでください。用紙がたるんでいる場合は微小送り機能を使用してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

5 ［改行 / 改ページ］スイッチを数秒押して用紙を 1 ページ分送って、プルトラクタにセットします。

6 プリンタカバーを取り付けて閉じます。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

！注意

- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

参考

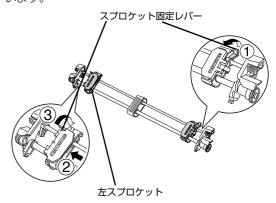
給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

トラクタユニットへの連続紙のセット

トラクタユニットに連続紙をセットします。セット方法は、トラクタユニットをどの位置につけても基本的には同じです（トラクタの向きにより少し違います）。

1 左右のスプロケット固定レバーを手前（前に取り付けた場合は後ろ）に倒してから、左のスプロケットを左側に移動して固定します。

左のスプロケットの位置は使用する用紙によって違います。

参考

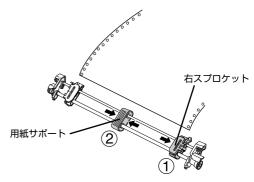
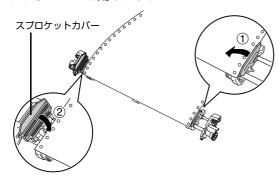
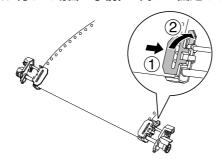
フロントカバー裏 / プリンタ後部の目盛りの［0］の位置が印字開始位置です。

ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。

① 用紙のセット位置を確認します。
　1 桁目の印字開始位置を［0］に合わせてください。

② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。

それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

2 右のスプロケットを用紙幅に合わせ、用紙サポートを左右のスプロケットの中央に移動します。

3 左右のスプロケットカバーを開けます。連続紙の左右３つの穴と左右のスプロケットのピンを合わせて用紙をセットしてから、左右のスプロケットカバーを閉じます。

4 右のスプロケットを連続紙がぴんと張るようにしてから、スプロケット固定レバーを後ろ（前に取り付けた場合は手前）に倒して固定します。

参考

連続紙のスプロケットの穴が変形していないことを確認してください。変形している場合は、スプロケットの位置を調整してください。

以上でトラクタユニットへの連続紙のセットは終了です。

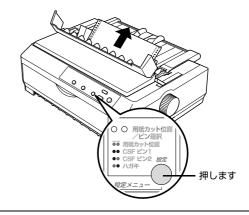
参考

連続ラベル紙を印刷するときは、プッシュトラクタでプリンタ前面から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、底面から給紙します。
連続ラベル紙のセット方法は、連続紙と同じです。
☞ 本書 38 ページ「給紙」

連続紙の排紙

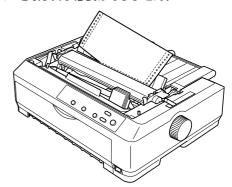
プッシュトラクタでの排紙

1 印刷が終了したら、[用紙カット位置/ピン選択]スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

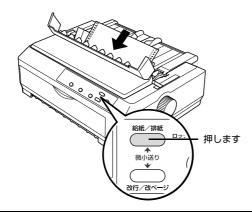
［用紙カット位置 / ピン選択］ランプが点灯します。

参考

- 上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。ティアオフ機能が自動に設定されていると、印刷終了後、自動的にミシン目カット位置まで連続紙を送ります。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」
- 切断するミシン目が用紙ガイドのペーパーカッターとずれているときは、［給紙 / 排紙］スイッチまたは［改行 / 改ページ］スイッチを押してミシン目位置を調整してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

2 印刷が終了したページをミシン目で切り離します。

細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

！注 意

印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。

3 **[給紙 / 排紙] スイッチを押してトラクタユニットまで連続紙を戻します。**

参考

電源を切るときは、[給紙 / 排紙] スイッチを押して連続紙をトラクタユニット位置まで戻してください。連続紙を給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

！注 意

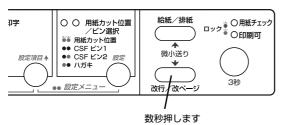
[給紙 / 排紙] スイッチは印刷が終了したページを切り離してから押してください。また、2 回以上押さないでください。

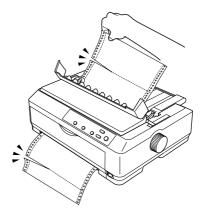
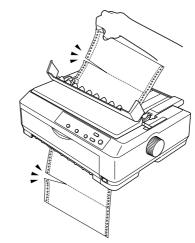
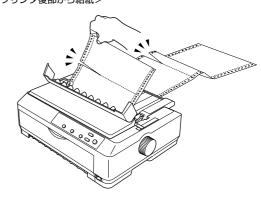
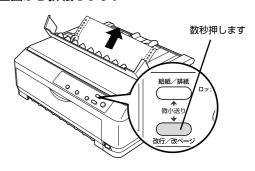
プルトラクタでの排紙

プルトラクタから排紙するときは、必ず [改行 / 改ページ] スイッチを使用して、プリンタ上面から排紙してください。ティアオフ機能（[用紙カット位置 / ビン選択] スイッチ、[給紙 / 排紙] スイッチ）は使用しないでください。

！注 意

ラベル紙を、[用紙カット位置 / ビン選択] スイッチ、[給紙 / 排紙] スイッチを使用するなどしてプリンタ後方 / 底面より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はトラクタユニット位置で用紙を切り離してから、[改行 / 改ページ] スイッチを押してプリンタ上面から排紙してください。

1 **印刷が終了したら、[改行 / 改ページ] スイッチを数秒押して改ページします。**

2 **印刷が終了したページと、印刷に使用しないページをミシン目で切り離します。**

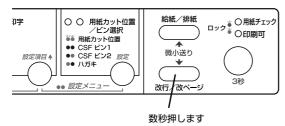
<プリンタ前部から給紙>

<プリンタ底部から給紙>

<プリンタ後部から給紙>

3 **[改行 / 改ページ] スイッチを数秒押してプリンタ上面から排紙します。**

ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず改ページをしてください。ティアオフ機能（[用紙カット位置 / ビン選択］スイッチまたは［給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

！注意
ラベル紙を、[用紙カット位置 / ビン選択］スイッチ、[給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどしてプリンタ後方 / 底面より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はトラクタユニット位置で用紙を切り離してから、[改行 / 改ページ］スイッチを押してプリンタ上面から排紙してください。

排紙方法

1 **印刷が終了したら、フロントプッシュトラクタの位置で連続ラベル紙を切り離します。**

2 **［改行 / 改ページ］スイッチを数秒押します。**

数秒押します

プリンタから取り外す方法

1 **フロントプッシュトラクタの位置でラベル紙を切り離します。**

2 **［改行 / 改ページ］スイッチを数秒押して、ラベル紙を排紙します。**

前後のトラクタの切り替え

本製品は前後にトラクタがあり、二種類の連続紙をセットしておくことができます。

以下の手順で給紙経路を切り替えます。

1 **印刷終了後の連続紙を切り離し、[給紙 / 排紙] スイッチを押します。**
連続紙はトラクタの位置まで逆に戻ります。トラクタから外す必要はありません。

！注意
ラベル紙を使用するときは、[給紙 / 排紙］スイッチを押さないでください。ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押して戻してください。

2 **レリースレバーを使用する給紙経路の位置に設定します。**
☞ 本書 33 ページ「給紙経路と用紙」

3 **印刷する連続紙の厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**
☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **印刷を実行します。**
印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

単票紙の給紙と排紙

単票紙は用紙ガイド（後）と用紙ガイド（前）から 1 枚ずつ給紙することができます。

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。

単票紙で印刷することが多い場合には、オプションのカットシートフィーダーをご利用ください。単票紙を連続して給紙することができます。

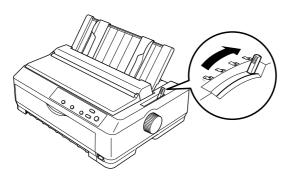
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダー」

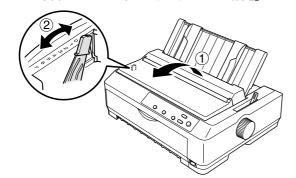
！注意

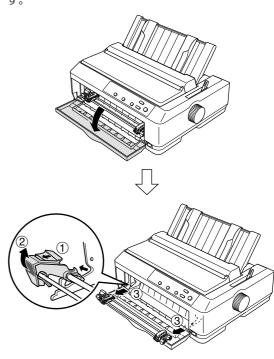
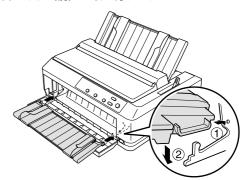
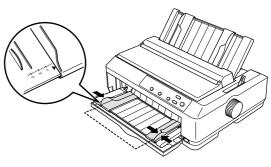
- 印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。
  - プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
  - プリンタの電源を入れたまま、用紙を引き抜く。
  - プリンタの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。
- 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（後）にセットできる用紙枚数は、単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。

給紙

用紙ガイド(前)からの給紙

1 **レリースレバーを単票紙側（CUT）に倒します。**

2 **プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。**

☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

3 **用紙ガイド（前）を取り付けます。**

トラクタユニットを前に取り付けている場合は、フロントカバーを開け、トラクタユニットを取り外します。

用紙ガイド（前）を取り付けます。

4 **エッジガイド位置を単票紙のサイズに合わせて調整します。**

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）に合わせ、エッジガイド（右）を単票紙の幅に合わせます。

参考

- エッジガイド（左）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。
- B4 縦の単票紙をセットする場合は、エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▶|）の左側にずらして紙幅に合わせてください。

5 **［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、単票紙を手差し給紙します。**

用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

!注意

プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。

参考

- ハガキの場合は、ハガキモードに設定してから給紙してください。
- DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は微小送り機能を使用して微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

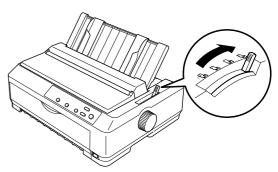
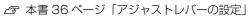
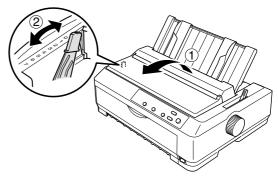
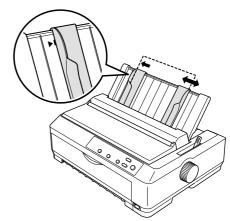
6 **印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

用紙ガイド（後）からの給紙

1 **レリースレバーを単票紙側（CUT）に倒します。**

2 **プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。**

☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

3 **エッジガイド位置を単票紙のサイズに合わせて調整します。**

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▶|）に合わせ、エッジガイド（右）を単票紙の幅に合わせます。

参考

- エッジガイド（左）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。
- B4 縦の単票紙をセットする場合は、エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▶|）の左側にずらして紙幅に合わせてください。

4 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、単票紙を手差し給紙します。

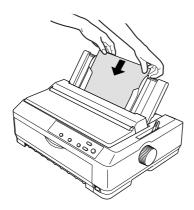
用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

！注意

プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。

参考

- ハガキの場合は、ハガキモードに設定してから給紙してください。
- DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は微小送り機能を使用して微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

5 印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

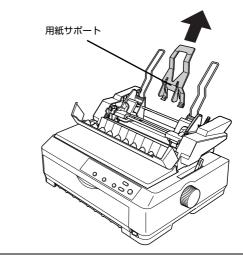
ハガキ

ハガキは、用紙ガイド（前 / 後）、カットシートフィーダーB（オプション）から給紙します。

往復ハガキは、用紙ガイド（後）またはカットシートフィーダーB（オプション）から給紙します。セット・排紙方法は単票紙と同じです。

☞ 本書 49 ページ「単票紙の給紙と排紙」

参考

- ハガキを印刷する場合は操作パネル上でハガキモードに設定してください。
  ① アジャストレバーを「2」に設定します。
  ② ［用紙カット位置 / ピン選択］スイッチを押し、ハガキモードにします。
  ☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」
  ☞ 本書 12 ページ「操作パネル」
- ハガキをカットシートフィーダーにセットする場合は、用紙サポートを取り外し、カットシートフィーダーのエッジガイドをハガキの幅に合わせてください。

連続紙(プッシュトラクタ)と単票紙の切り替え

プッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙の給紙と単票紙の給紙を切り替えて単票紙に印刷することができます。

> **参考**
> オプションのカットシートフィーダーとプッシュトラクタ（後）を使用する場合、連続紙をプッシュトラクタ（後）にセットしてからカットシートフィーダーを取り付けてください。

連続紙から単票紙への切り替え

> **参考**
> 連続紙の先端がプッシュトラクタ（後）の位置にある場合は、4 へ進んでください。

1 連続紙の印刷が終了したら、[用紙カット位置 / ビン選択] スイッチを数秒押して、ミシン目カット位置まで紙送りします。

自動ティアオフ機能をオンに設定している場合は [用紙カット位置 / ビン選択] スイッチを押す必要はありません。

2 連続紙を切り離します。

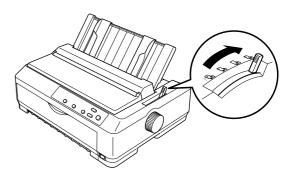
ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

> **!注意**
> - 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
> - ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はフロントプッシュトラクタ位置で切り離してください。プリンタ内に残ったラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押してプリンタ上面から排紙します。

3 ［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

セットした連続紙はトラクタの位置まで戻りますが、トラクタからは外れません。

> **!注意**
> ラベル紙使用時は［給紙 / 排紙］スイッチを押さないでください。

4 レリーズレバーを単票紙側（CUT）に倒します。

5 カットシートフィーダー（オプション）を使用しない場合は、用紙ガイド（後）を起こします。前から給紙する場合は、フロントカバーを開けます。

6 連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。

☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

7 単票紙を用紙ガイド（前または後）またはカットシートフィーダー（オプション）にセットします。

用紙ガイド（前または後）にセットする場合は、エッジガイドを用紙幅に合わせてから、単票紙を奥まで差し込みます。約 2 秒後、用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

☞ 本書 49 ページ「単票紙の給紙と排紙」
☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) –「オプションと消耗品」–「カットシートフィーダー」

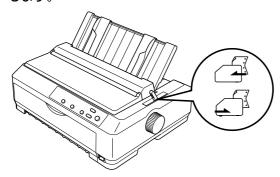
8 印刷を実行します。

印刷データを受信すると、セットされた単票紙を給紙して印刷を開始します。

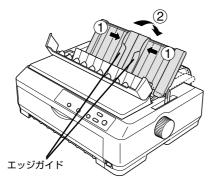
単票紙から連続紙への切り替え

1 **単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。**

印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

2 **レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（ ）またはプッシュトラクタ（後）（ ）側に設定します。**

3 **連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**

☞ 本書 36 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置まで移動します。用紙ガイド（後）は少し後ろに引いて倒します。**

5 **印刷を実行します。**

印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

> **! 注 意**
> 印刷データを送る前にプッシュトラクタ（前）またはプッシュトラクタ（後）に用紙がセットされていることを確認してください。

用紙が詰まったときは

プリンタ内部で用紙が詰まった場合は、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

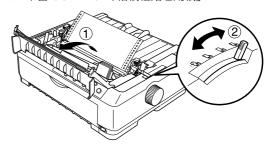
> **⚠注意**
> 印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

連続紙が詰まったときは

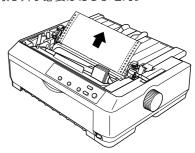
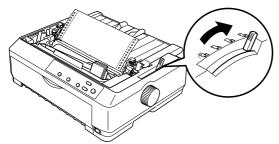
1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタカバーを開けて、レリースレバーの設定を確認します。**

レリースレバーの位置が給紙方法と異なっている場合は、適切な位置に設定します。

☞ 本書 33 ページ「給紙経路と用紙」

3 **紙送りノブを回すか用紙を引いて、詰まっている用紙を取り除きます。**

詰まっている用紙を完全に取り除いた場合は、6 へ進みます。上記の方法で取り除けなかった場合、またはプリンタ内に紙くずが残ってしまった場合は、4 に進んでください。

細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

4 レリースレバーを一旦単票紙（[icon]）位置に戻します。

5 紙送りノブを時計回りに回して用紙を取り除きます。

紙送りノブをゆっくりと回しながら、用紙を静かに引き抜きます。

> **!注意**
> - 紙送りノブを回すときは、必ず電源を切ってください。
> - ラベル紙は給紙方向と逆方向に引き抜かないでください。ラベル紙がプリンタ内部に貼り付くことがあります。ラベル紙を取り除く場合は、ラベル紙がプリンタに給紙される手前で切り離してからノブを時計回りに回して用紙を送ってください。

6 プリンタの電源を入れて、用紙をセットし直します。

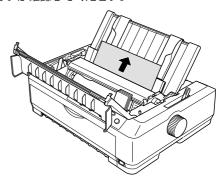
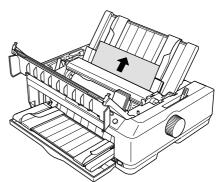
本書 38 ページ「連続紙の給紙と排紙」

7 プリンタカバーを閉じます。

単票紙が詰まったときは

1 プリンタの電源を切ります。

2 紙送りノブを回すか用紙を引いて、詰まっている用紙を取り除きます。

プリンタカバーを開けて、プリンタ内部に用紙が残っていないか確認してください。

3 プリンタカバーを元に戻します。

4 電源を入れて、用紙をセットし直します。

本書 49 ページ「単票紙の給紙と排紙」

カットシートフィーダーで詰まったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**
カットシートフィーダー内に詰まっている用紙が見えないときは、3 へ進みます。

2 **用紙が見えるときは、紙送りノブを反時計回りに回しながら用紙をゆっくり引き抜きます。**

3 **用紙が見えないときは、プリンタカバーを開けてカットシートフィーダーを取り外し、用紙を取り除きます。**

4 **カットシートフィーダーをプリンタに取り付けてから、用紙をセットし直します。**
☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) –「オプションと消耗品」–「カットシートフィーダー」–「取り付け方」

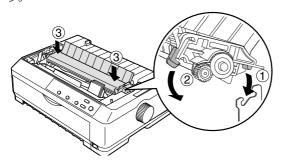
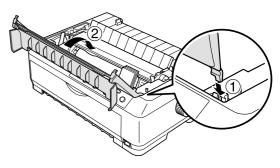
プリンタ内部に用紙が残ったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタカバーと用紙ガイド(後)と排紙ユニットを取り外します。**

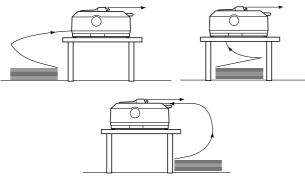
3 **用紙を取り除きます。**

> **!注意**
> 用紙がローラで詰まった場合は、レリースレバーを単票紙位置に設定して紙送りノブを回してください。詰まった用紙が簡単に外れます。レリースレバーは元の位置に戻してください。

4 **排紙ユニットを取り付けます。**
排紙ユニット両側のフックをプリンタ側にひっかけ、排紙ユニットの下部を押し込むようにして固定します。

5 **プリンタカバーを取り付けます。**

6 **用紙ガイド(後)を取り付けます。**

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

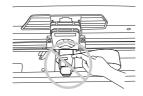
- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 35 ページ「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。また、連続紙の置き方に注意してください。
  ☞ 本書 38 ページ「連続紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 49 ページ「単票紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 52 ページ「連続紙（プッシュトラクタ）と単票紙の切り替え」

- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- カットシートフィーダー（オプション）に用紙をセットするときは、用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。
- 許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- カットシートフィーダーからの連続給紙において、最後の 1 枚が給紙されないことがあります。カットシートフィーダーの用紙が少なくなったら、残っている用紙を一旦取り出して、新しい用紙を足してセットし直してください。用紙が残っている状態で新しい用紙をセットすると、同時に複数枚の用紙が送られてしまい、用紙詰まりの原因となることがあります。
- 連続ラベル紙を使用する場合は、用紙がなるべく直線になるような給紙経路にしてください。
  ☞ 本書 38 ページ「連続紙の給紙と排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れていないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

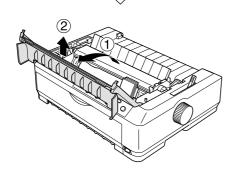
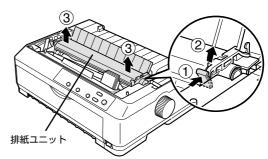
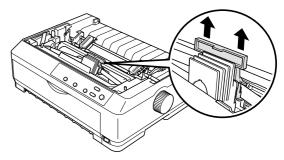
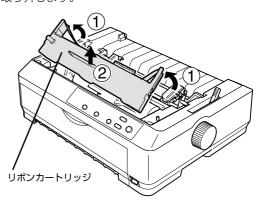
インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンカートリッジを交換してください。

⚠注意
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- プリンタの電源を入れた状態でリボンカートリッジを交換すると故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。

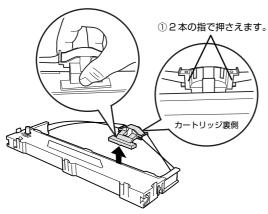
参考　リボンカートリッジは純正品（型番：VP880RC）をご使用になることをお勧めします。

リボンカートリッジ交換時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンタの電源を切ります。**

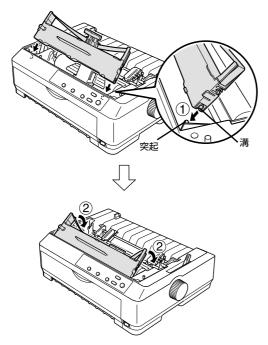
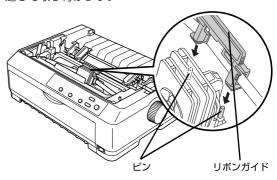
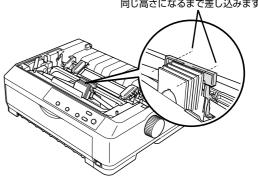
⚠注意
プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

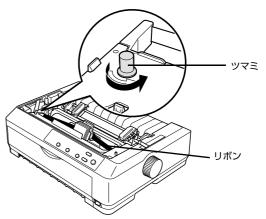
2 **プリンタカバーを取り外します。**
排紙ガイドを手前に倒してから、プリンタカバーを手前に起こして上に引き抜きます。

3 **排紙ユニットを取り外します。**
排紙ユニット両側のレバーを後方に押しながら、そのまま回転させるようにして取り外します。

4 **リボンガイドをプリントヘッドから取り外します。**
リボンガイドを上部の両端を持ち、引き抜きます。

5 **リボンカートリッジを取り外します。**
リボンカートリッジを持ち、手前に起こすようにして取り外します。

6 新しいリボンカートリッジを袋から取り出して、リボンガイドを外します。

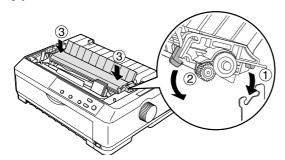
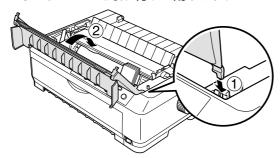
リボンカートリッジに固定されているリボンガイドを下図のように持ち、手前に引いてカートリッジから外します（カートリッジから引き抜くだけでリボンから取り外す必要はありません）。

参考

上図①で示した所以外を持つと、インクで手が汚れる場合があります。

7 リボンカートリッジを取り付けます。

プリンタ両側の突起にリボンカートリッジの溝を合わせて、合わせた部分を支点にして固定されるまで奥に倒し込みます。カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

8 インクリボンのリボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。

リボンガイドの穴をプリントヘッドの両側のピンに通して取り付けます。

9 リボンのたるみを取ります。

再びリボンカートリッジのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。

10 排紙ユニットを取り付けます。

排紙ユニット両側のフックをプリンタ側にひっかけ、排紙ユニットの下部を押し込むようにして固定します。

11 プリンタカバーを取り付け、閉じます。

参考

使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。
http://www.epson.jp/recycle/
使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。
廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

以上でリボンカートリッジの交換は終了です。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンタを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンタ本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 **本製品に同梱されている EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **［電子マニュアルを見る］をクリックします。**

3 **［VP880UG.pdf］をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダへコピーします。**

各種サービス･サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス･サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。 「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。 MS-DOS、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 での操作方法などを説明した補足説明書のPDF データは弊社のホームページからダウンロードしてください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2013 年 4 月現在）。	本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	次項「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約や、エプソンサービスパックをお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターへお問い合わせください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th><th rowspan="2">お問い合わせ先</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td><td rowspan="3">エプソン
サービスコール
センター</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料 ＋ 技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td><td>エプソン
修理センター</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td><td>ドア to ドア
サービス受付電話</td></tr>
</table>

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年)、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

EPSON VP-880 セットアップと使い方の概要編

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070

・鳥取修理センター：0857-77-2202　・福岡修理センター：092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話**050-3155-7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8088　【受付時間】月～金曜日9:00～12:00 / 13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。（2013年4月現在）

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）にてご確認ください。

エプソン販売株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（SIDM）　2013. 04